

第6学年〇組外国語科学習指導案

令和5年〇月〇〇日（〇）第〇校時

活動場所

児童数

指導者 T 1

T 2 ALT

1. 単元名 『My Best Memory』 Unit 7 いちばん思い出に残った行事をたずねて紹介し合おう。

2. 単元について

(1) 教材観

〇言語材料

【表現】 What did you see? We saw～. What did you enjoy? I enjoyed～. What is my best memory?

Your best memory is～. It was～. Where did you go? We went to～.

【単語】 行事 annual concert, school trip, sports day, entrance ceremony, school camp, friendly sports festival, jump rope competition, marathon, town tour, social studies field trip, field trip, 1st grader's games day,

動作 sing, run, jump, dance, swim, dance, go, eat, cook, write, study, speak, draw, Read, listen look, see, play, practice, try, enjoy, make

様子 good, great, nice, fantastic, wonderful, beautiful, cool, cute, favorite, interesting, exciting, famous, popular, international, fan,

建物 park, library, museum, city hall, station, castle, shrine, temple, aquarium, zoo, bridge, street

したこと went, ate, saw, enjoyed, had

本単元は、「What did you see?」「We saw～.」「What did you enjoy?」「We enjoyed～」という表現を使って、自分の小学校生活の思い出を伝えたり、相手のことをよく知ろうとたずねあったりすることをねらいとしている。

本単元のゴールとなる活動では、自分の「My Best Memory」を伝えるための思い出シートを作る活動を設定している。作成したシートを、学級活動で作成している「6年2組思い出年表」に掲載することで、年表を充実させる。また、総合的な学習の時間「感謝の気持ちを伝えよう」では、今までお世話になった先生方に自分の気持ちを伝えるにはどうしたらよいか、話し合う活動を行った。その中で2年生まで一緒に活動しお世話になった元 ALT のピーター先生の名前も挙がった。ピーター先生は、毎年ハロウィンの授業や多くの学校行事にも参加していただいております、自分たちの成長を伝えたいという気持ちをもっている。ピーター先生にも自分たちの楽しかった思い出を伝えるためには、「思い出年表」を日本語で作るだけでなく、自分の思い出を英語でも書いたり話したりして伝えたいという思いが生まれた。本単元の中で思い出をたずね合うことで、思い出年表もより充実したものになり、6年間の外国語の授業の内容をより深めることができるものになると考える。

思い出をたずね合う場面では、お互いの「My Best Memory」は何か思考し、質問しあい答えを導き出す活動を通して、自分の思い出と友達の思い出との共通点や違いを楽しみながら、小学校生活が充実していたことや楽しかったという思いを共有し合うことで学習意欲を高めることができる単元である。

(2) 指導観

本単元では、本校研究主題の「英語が好きな児童を育てるための外国語活動・外国語における指導の充実」に迫るために、児童が言いたくなる・たずねたくなる場面の設定をする。本学級では、2学期末から、学級活動で『6年〇組思い出年表』作りに取り組み、小学校生活での思い出を振り返る授業を行っている。卒業に向けて自分の小学校生活を懐かしみ、楽しかったという思いを聞き合うことで、自分たちの学校生活が充実していたという思いを常にもたせるとともに、英語でたずねることを通して、その楽しかった気持ちや行事がお世話になったALTにも伝わることの喜びに気づかせ、自信をもってやりとりできるようにさせたい。また、友達の思い出をたずねるだけではなく、友達の「My Best Memory」が何かを当てるとというクイズ形式をとることで、既習事項のフレーズも使いながら、友達の思い出をたずねることに意欲的に取り組ませたい。「友達の思い出について紹介する」という目的があることで、積極的に、「What did you see?」「Where did you go?」という話型を用いてやりとりすると考える。

第1時・第2時では、日本や世界の子どもたちの小学校生活の思い出についてのやり取りを聞いて、おおよその内容が理解できるようにする。繰り返し使われている表現や、既習事項のフレーズを手がかりに内容を推測させながら、学校行事などの英語表現を導入していく。6年間の学校生活を振り返りながら、過去形を使って楽しかった思い出の学校行事について話し合う。そして思い出年表を充実させるとともに、ピーター先生に紹介するという単元のゴールを明確にし、単元末までの学習の見通しを持たせたい。

第3時では、修学旅行についての思い出をたずね合うことによって、「What did you see?」「Where did you go?」などの表現に慣れ親しませる。その際、答える時には「I went to～」だけではなく「It was～」などの表現も使い、その時の気持ちも伝え合わせる。また、自分の思いを伝えるためには、決められた順序で話すだけでなく、共感するあいづちを使うことも大切であるということを確認し、会話の中で積極的に使えるようにさせるとともに、次時の活動につなげたい。

第4時では、学校行事を通して小学校生活を振り返り、ペアやグループでたずね合うことをきっかけに、自分の心に残っていることや思い出を共有したい。たずね合った後、友達の思い出を紹介し、他の児童に評価してもらおうという活動を通して、言語材料を使って英語で話す必然性が生まれる活動である。質問形式にすることで、「自分の楽しかった思い出を知ってほしい」「友達の思い出を知りたい」という意欲をもたせる。相手の発言を繰り返したり、「Me too!」といった共感のあいづちを使ったりすることで、英語のやり取りを楽しんでできるようにさせたい。そして、お互いの考えや気持ちが伝わることの楽しさや喜びを実感させたい。

第5時・第6時では、思い出年表に掲載するための「My Best Memory」シートを作成し、小学校の思い出を紹介できるようにする。一番伝えたいことを既習事項や「わたしのせりふ」を参考にしながら構成し、シートを完成させたい。シートを完成させたらピーター先生に思い出を伝えるために、ペアやグループの中で紹介し合い、聞く人の反応を受けて話す工夫など、他者に配慮してやり取りができるように指導する。第6時には、ピーター先生を呼んで伝え合う発表会を行うことで、「My Best Memory」を英語で伝えることに必然性をもたせるとともに、英語で伝わったという達成感も味わわせたい。

第7時・第8時では、世界の学校生活などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。世界の学校生活について、日本と比較することを通して、学校生活も国によって異なっていることについて考える。そのうえで、Challengeでは「学校自慢」をする。英語の文のリズムを取り上げて、英語特有のリズムや、情報を強調して伝えることの大切さを実感させる。「世界のすてき」では、ガーナについての映像や音声を視聴し、日本とのつながりなどについて考える。

3. 児童の実態について

本学級の児童は、明るく授業態度も意欲的である。思いついたことを伝えたいという意欲をもつ児童が多く、常にどの授業でも活発な意見交換をすることができる。外国語の時間には、「small talk」やALTの質問に

も積極的に手を挙げて発言する様子が見られる。しかしながら、11月に実施したアンケート結果では、「中学校での英語の授業が楽しみですか」という質問に、「とてもそう思う」と答えた児童が半数以下となっており、書く・読む・話すに対して不安をもつ児童も多いことが分かる。そのため、外国語の時間には、自分の思いを正しい話型ではなくても「伝えたい」「言いたい」という思いを受け止め、単語でも知っているフレーズだけでも答えられたことをほめるということを繰り返し授業の中で行ってきた。「あなたは外国語の授業に進んで参加していますか」という質問に80%以上の児童が肯定的な回答をしており、苦手な学習にも一生懸命取り組む姿勢は育ってきている。

そこで、朝の会で、今学習している単元の「Let's Sing」や「Let's Chant」を歌う活動を2学期から始めた。外国語の時間以外にも歌やチャンツを聞くことで、単元のセンテンスを覚える習慣がついてきた。また、授業以外でチャンツを口ずさむ姿も見られるようになった。そして、教室内に「センテンスコーナー」を設置し、今学習した表現や文法を目にする機会を多く設けることで、外国語の時間に自信をもって答えられる児童を増やすとともに、苦手意識をなくし、英語好きな児童を育てられるようにしていきたい。

4. 研究主題との関連

研究主題

「英語が好きな児童を育てるための外国語活動・外国語における指導の充実」

目指す児童像

「英語が好きな児童」

仮説① 英語が楽しいと感じられる指導の充実を図れば、英語が好きな児童の育成ができるだろう。

手立て

○授業スタイルの確立

昨年度までALT主体で進めてきた外国語の学習を、今年度からは教科書を活用しながらより実践的な会話を意識したり、中学校進学を見据えた学習を目指して、普段の生活から英語を使った場面を意図的に設定したりする。外国語の時間にはALTの質問を意図的に加え、場に合った言葉の受け答えや、自分の考えを簡単な会話で伝え合う活動を取り入れ、コミュニケーションを多くとらせる。児童にとって、まだ不慣れである英語を使ったコミュニケーションをALTや友達同士でとる場面を多く設定することで、英語を使って意思疎通をとる楽しさを感じさせる。繰り返しコミュニケーションをとることで、既習事項の定着にもつながり、児童の自信も生まれると考える。

○OTTの効果的な活用

ALTと学年で単元の学習計画を週に1度話し合う機会を設けた。「Word Link」や「Small Talk」の場面で、指導書通りではなく、児童の実態に合わせてよりよい学習方法を検討することで、学習内容の充実を図った。また、授業の中では、英語で話すことや書くことに自信のない児童にも「Please Marilyn.」とALTに声をかける機会を繰り返し作ったり、HRTからも積極的に分からないことをALTにたずねる場面を見せたりすることで、恥ずかしがらずに声をかけることができ、学ぶ意欲が高まると考える。

仮説② 外国語を活用できる環境を整備し、英語に親しむ機会を増やせば、英語が好きな児童が育成できるだろう。

○外国語を繰り返し楽しく学習できる掲示物の工夫

教室内に「センテンスコーナー」を設置し、既習事項のセンテンスやフレーズを目ごろから目にすることができるようにした。そのことによって、既習内容がいつでも確認することができるので、定着を図っている。

○学校全体における外国語による取り組みの充実

毎日の朝の会での「一口英語」を通して、身近なものの英語の言い方を知ることができ、英語に親しむ機会が増える。また、朝の歌でその時学習している単元の「Let's Sing」や「Let's Chant」を歌うことで、既習事項の定着を図り、外国語の時間に感じる不安感を少しでも取り除くことができると考える。

仮説③ 児童の実態を把握し、それに即した指導方法の改善を行えば、英語が好きな児童が育成できるだろう。

○児童の実態を把握するためのアンケート

アンケートを通して、英語に対して好きと感じている児童がほとんどだが、好きでも、「発音が苦手」「自信がない」と消極的な考えをもっている児童もいることが分かった。そこで、自信をもって会話ができるようデジタル教材を活用することで、視覚情報や音声などによって、よりわかりやすく理解を深めることができると考える。タブレットで教科書のQRコードを読み取って、自分で何度も音声を聞いて練習することで安心して発音することができる。また、ALTのあとに続いて発音する場面を設けたり、カンパセーションカードを活用したりして、自信をもって会話できるような授業を行う。一方、「簡単すぎる」と感じている児童には、「Small Talk」の時間等に多様な表現を考えさせ、自分の気持ちや思いを様々な角度から表現できるように、個に応じた指導を行う。

○教員の意識調査

校内研修を通して、評価方法についての共通理解をし、正しく評価することにより、指導と評価の一体化を図る。

5. 単元の目標

- ・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、短い話を聞いてその概要を捉えることができる。(知識・技能)
- ・自分のことを伝え、相手のこともよく知るために、小学校生活の思い出などについて、伝え合ったり、話したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・小学校生活の思い出などについて、例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。
(学びに向かう力、人間性等)

6. 単元の評価規準

	聞くこと 聞	読むこと 読	話すこと 話 〔やり取り〕 や	書くこと 書
知識・技能	<知識> ① [My best memory is ~. We went ~. We saw ~. I	<知識> ① << 同上 >> 簡単な語句や基本的な表現を理	<知識> ① [同上] について、理解している。 <技能>	<知識> ① << 同上 >> 英文の語順などを理解してい

	<p>enjoyed ～. およびその関連語句など]について、理解している。</p> <p><技能></p> <p>②《小学校生活の思い出などについて、》聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>解している。</p> <p><技能></p> <p>②《同上》書かれた英文を理解する技能を身に付けている。</p>	<p>②《同上》〔同上〕を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う（話す）技能を身に付けている。</p>	<p>る。</p> <p><技能></p> <p>②《同上》例文を参考に書く技能を身に付けている。</p>
<p>思考・判断・表現</p>	<p>○『相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、』短い話の概要を捉えている。</p>	<p>○自分のことを伝え、『同上』書かれた簡単な語句や基本的な表現の意味が分かり、声に出して読んでいる。</p>	<p>○自分のことを伝え、『同上』簡単な語句や基本的な表現などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている（話している）。</p>	<p>○自分のことを伝えたりするために《同上》例文を参考に書いている。</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>①相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて短い話の概要を捉えようとしている。</p> <p>②〔外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、〕海外の国について、短い話の概要を捉えようとしている。</p>	<p>○自分のことを伝え、『同上』書かれた簡単な語句や基本的な表現の意味を分かろうとし、声に出して読もうとしている。</p>	<p>○自分のことを伝え『同上』簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おう（話そう）としている。</p> <p>○〔同上〕わたしの学校について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>	<p>○自分のことを伝えたりするために、《同上》例文を参考に書こうとしている。</p>

7. 単元計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（【】、○）【 】＝誌面化されている活動	評価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準 （評価方法）
1	◆日本や世界の子供たちの小学校生活の思い出についてのやり取りのおおよその内容を理解する。				
	【Let's Sing】Four Seasons ・曲を聞いて歌えるところを歌う。			聞	◎相手のことをよく知るために、

	<p>【Small Talk】 Did you enjoy sports day? 【Word Link】 ・PDの「学校行事」を復唱する。 【Let's Try】 ポインティングゲーム ・言われたPDの単語を指す。 ・指導者の示す絵カードの単語を言う。 【Let's Chant】 What is your best memory? ・チャンツを聞いて言えるところを言う。 【Starting Out】 ・音声を聞いて、聞こえた順に番号を記入する。 ・音声や映像からわかったことをWSに記入する。 【Let's Read and Write】 ・モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 【Sounds and Letters】 ・Chの練習問題をして、文字を書く。</p>			<p>小学校生活の思い出について、短い話の概要を捉えようとしている。</p>
2	<p>◆ 日本や世界の子供たちの小学校生活の思い出についてのやり取りのおおよその内容を理解する。</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。 【Word Link】 ・「したこと」の単語を復唱する。 【Let's Try】 ・ポインティングゲーム 【Let's Chant】 What is your best memory? ・チャンツを聞いて言えるところを言う。 【Starting Out】 ・前時に記入したWSの1を見ながら、音声や映像を視聴する。 ・前時の続きを視聴し、聞こえた順に番号を記入する。 【Let's Read and Write】 ・モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 【Sounds and Letters】 ・th①②の練習問題をして、文字を書く</p>	聞		<p>◎My Best Memory is～、We went～、I enjoyed～、およびその関連語句などについて、理解している。 ◎〔同上〕聞き取る技能を身に付けている。</p>
3	<p>◆ 修学旅行で見たものなどについてたずね合う。</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。 【Small Talk】 ・モデル会話をもとにペアで会話をする。 【Word Link】 ・「建物」などの単語を復唱する。 【Let's Chant】 What is your best memory? ・チャンツを聞き、言う。 【Let's Listen】</p>	話		<p>◎《小学校生活の思い出などについて》〔同上〕を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、答えを線で結ぶ。 ・答え合わせをする。 <p>【Let's Try②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で見たことなどについて、ペアでたずね合う。 <p>【Let's Read and Write③④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 ・「わたしのせりふ」に「見たもの」「楽しかったこと」を書く。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・th①②の練習問題をして、文字を書く。 				
4 本 時	<p>◆ 思い出に残った学校行事や楽しんだことをたずね合う。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌う。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞き、言う。 <p>【Word Link】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「動作など（１）（２）」の単語を復唱する。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル会話をペアで会話する。 <p>【Activity 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を使って友達の思い出をたずねたり、紹介したりする。 ・お互いの評価をする。 <p>【Activity2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を使って友達の思い出をたずねたり、紹介したりする。 ・お互いの評価をする。 		や		◎自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、《同上》簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。
5	<p>◆ アルバムシートを作り、友達とやり取りをする。</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌う。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル会話をペアで会話をする。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞き、一緒に言う。 <p>【Step1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントを復唱し、内容を確認する。 ・「わたしのせりふ」に伝えたい追加の文を書く。 ・アルバムシートを作成する。 <p>【Step2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバムシートを見せながらペアで練習する。 		話		◎自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。

6	<p>◆アルバムシートを集めて思い出のアルバムを作り、紹介する。</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。</p> <p>【Let's Chant】 ・チャンツを聞き、言う。</p> <p>【Sounds and Letters】 ・ck の練習問題をして、文字を書く。</p> <p>【Step 3】 ・前時で作成したアルバムシートをもとに、お世話になった ALT に自分の思い出について紹介する。 ・紹介が終わったら、「話すときに工夫したこと」「聞くときに工夫したこと」を記入する。</p>	発	話	◎ [自分のことを伝え、あいてのことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを] 話している。
7	<p>◆世界の学校生活について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。</p> <p>【Small Talk】 ・モデル会話をもとにペアやグループで会話をする。</p> <p>【Let's Chant】 ・チャンツを聞き、言う。</p> <p>【Do you know?】 ・世界の学校生活や日本との違いについて考え、意見を発表する。</p> <p>【Challenge】 ・自分の学校の施設や行事などについて、「学校自慢」のやり取りをする。</p> <p>【Sounds and Letters】 ・ng の練習問題をして、文字を書く。</p>	話		◎外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、私の学校について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
8	<p>◆英語の文のリズムについて知り、ガーナについて理解を深める。</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。</p> <p>【Let's Chant】 ・チャンツを聞き、言う。</p> <p>【ことば探検】 ・ALT のモデルを聞く。 ・モデルに倣って、英語らしいリズムの読み方を練習する。 ・気づいたことを発表する。</p> <p>【世界のすてき】 ・ガーナについての映像や音声を視聴し、分かったことを発表させる。 ・そのほか、ガーナについて分かっていることを発表する。</p> <p>【Sounds and Letters】 ・Quiz⑬で音声を聞いて、聞こえた順に番号を書く。</p>		聞	◎外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、海外の国について、短い話の概要を捉えようとしている。

8. 本時の展開

目標 思い出に残った学校行事や楽しんだことをたずね合う。

準備 デジタル教材、児童用テキスト、カンバセーションカード、ピクチャーディクショナリー、アクティビティシート、ワークシート、振り返りシート

○本時の展開 (4/8)

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価〈方法〉 T1 : HRT T2 : ALT	準備物
2分	<p>○挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>How are you? What day is it today? What's the date today? What's the weather like today? What time is it now?</p> </div> <p>・T2 に続いて児童が言う。</p>	<p>T1…児童と一緒に言う。 T2…発音が分からない児童と、一緒に発音する。</p>	
2分	<p>【Let's Sing】Four Seasons ○元気よく歌う。</p>	<p>T1・T2…児童と一緒に歌う。</p>	<p>・デジタル教材</p>
2分	<p>【Let's Chant】 What is your best memory? ・チャンツを聞き、言う。 【Word Link】 ○「動作など(1)(2)」の単語やフレーズを復唱する。</p>	<p>T2…教師用カードを使いながら、動作の過去形を発音する。 ・語数が多いので、この時間に使用するとと思われる単語を中心に復唱させる。</p>	<p>・デジタル教材 ・センテンスカード</p>
4分	<p>【Small Talk】 ・T1 と T2 の小学校生活の思い出についてのやり取りについて聞く。 ・T2 が聞き取れた内容について児童に確認する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>T2 : Hi. T1 : Hi. T2 : What is your best memory? T1 : Please think about, and guess my answer. I saw the sea. It was very beautiful. T2 : Wow!! That's nice! What did you see? T1 : I saw dolphins. It was so cute. T2 : Wow! Sounds good! What did you enjoy? T1 : I enjoyed talking in the room. T2 : I see! Where did you go? T1 : I went to Hakodate. T2 : Your best memory is . . .</p> </div>	

1分	<p>○本時のねらいを知る。</p> <p>めあて 友達の My Best Memory を知るために、今まで学習したフレーズを使ってたずね合おう。</p> <p>・本時のねらいを知るとともに、単元のゴールについても確認する。</p>	<p>T1…たずね合ったことを他の友達に紹介することを伝え、積極的にやり取りができるようにする。</p> <p>T2…既習フレーズを発音する。</p>	
5分	<p>【Activity 1】の準備</p> <p>○T1 と T2 のデモンストレーションを見て、たずね合う方法を確認する。</p> <div data-bbox="201 611 730 947" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【Good ポイント】</p> <p>①できるだけたくさん質問しよう。</p> <p>②答える時は、気持ちもいっしょに伝えよう。</p> <p>③聞き手は、共感の気持ちをあいづちで表そう。</p> </div> <p>・デモンストレーションの中で、よく使うフレーズを練習する。</p> <p>・ Good Card のチェックポイントを確認する。</p>	<p>T1・T2…デモンストレーションをする。ゆっくりはっきり発音する。</p> <div data-bbox="780 595 1257 1368" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T2 : Hi.</p> <p>T1 : Hi.</p> <p>T2 : What did you eat?</p> <p>T1 : I ate Shiras bowl. It was delicious!</p> <p>T2 : What did you see?</p> <p>T1 : I saw many temples. It was beautiful.</p> <p>T2 : What did you enjoy?</p> <p>T1 : I enjoyed dinner at the hotel. It was very delicious!</p> <p>T2 : I know ! Your best memory is the school trip.</p> <p>T1 : Yes!!That's right!!</p> </div> <p>T2…聞き取れた内容を児童に確認しながら、Activity のキーセンテンスを発音する。</p> <p>T1…Activity の中で友達の評価をする視点を確認させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティシート ・振り返りシート ・行事の写真 ・ Good Card
6分	<p>【Activity1】</p> <p>○ペアで聞き手と回答者を交代しながら、相手の My Best Memory をたずねる。</p> <p>・相手の My Best Memory を考えるために既習事項のセンテンスを活用して質問する。</p> <p>・楽しかった気持ちも一緒に伝える。</p>	<p>T1・T2…児童への発音の手助けをする。</p> <p>T1…積極的にやり取りしている児童を見つける。</p> <p>◎既習事項を使って思い出をたくさんたずねたり、自分の気持ちを伝えたりしようとしている。</p> <p>(行動観察・ワークシート点検)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティシート ・ Good Card

4分	<p>○ペアの友達に Good Card を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き終わったら、お互いにメッセージを伝え、交換する。 	<p>T1：積極的にやりとりしていた児童を見つける。</p> <p>T2：正しい表現や発音を教える。分かりやすく伝えられた児童を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・ Good Card
3分	<p>○Good ポイントを全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かる言葉で何とか伝えようとしている。 ・共感してくれた。 ・目を見て言ってくれた。 	<p>T1…友達の良い Good ポイントで良い気付きができていた児童を発表する。</p>	
6分	<p>【Activity2】</p> <p>○Activity 1 の時とペアを代えてたずね合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ good ポイントを意識してやりとりを行う。 	<p>T1…積極的にやり取りしている児童を見つける。</p> <p>T2…正しい表現や発音を教える。</p> <p>◎お互いの Best Memory についてより詳しく分かってもらえるように話そうとしている。(行動観察・振り返りシート点検)</p>	
4分	<p>○ペアの友達に Good Card を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き終わったら、お互いにメッセージを伝え、交換する。 	<p>T1…詳しく伝えられていた児童を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Good Card
3分	<p>○よかった友達や Good ポイントを発表する。</p>	<p>T2…上手にやりとりできていた児童を発表する。</p>	
3分	<p>○本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WS に友達の思い出を英語で書く。 ・やり取りを通して感じたことを振り返る。 	<p>T1…児童の活動でよかったところを評価する。</p> <p>T2…やりとりがスムーズだった児童を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート

10. 板書計画

Today's Goal

友達の My Best Memory を知るために、今まで学習したフレーズを使ってたずね合おう。

会話を楽しもう

- Let's Sing
- Let's Chant
- Word Link
- Small Talk
- Activity1
- Activity2

Your best memory is the

行事写真

My best memory is the

行事写真

Good ポイント

行事写真

プラスの質問

共感のあいづち

Please Marilyn

行事写真

質問し続けた

繰り返しの共感

楽しかった気持ちを共感しあえた！！



Good
Card

I see !

That's nice!

Wow!!

T2: Hi.
T1: Hi.
T2: **What did you eat?**
T1: I ate Shiras bowl. It was delicious!
T2: **What did you see?**
T1: I saw many temples. It was beautiful.
T2: **What did you enjoy?**
T1: I enjoyed dinner at the hotel.
T2: I know ! Your best memory is the school trip.
T1: Yes!!That's right!!

【Good ポイント】

- ①できるだけたくさん質問しよう。
- ②答える時は気持ちもいっしょに伝えよう。
- ③聞き手は、共感の気持ちをあいづちで表そう。

Think about your friend's memories

Grade Class Name

1 友達の My Best Memory が何か、たくさん質問をして考えよう。

() さんの Best Memory

質問して分かったことを書こう。(日本語で)

【Memo】

行事名()

【Good ポイント】

- ①できるだけたくさん質問しよう。
- ②答える時は気持ちもいっしょに伝えよう。
- ③聞き手は、共感の気持ちをあいづちで表そう。



紹介文

()'s memory is the ().

楽しかったこと ()

() さんの Best Memory

質問して分かったことを書こう。(日本語で)

【Memo】

行事名()



紹介文

()'s memory is the ().

楽しかったこと ()

Good Card () さんへ

①友達の Best Memory を知るためにたくさん 質問できていたか。	◎・○・△
②今まで習ったフレー ズを使って伝えること ができていたか。	◎・○・△
③英語と日本語のちが いに気を付けて話すこ とができていたか。	◎・○・△
【メッセージ】	
より	

Good Card () さんへ

①友達の Best Memory を知るためにたくさん 質問できていたか。	◎・○・△
②今まで習ったフレー ズを使って伝えること ができていたか。	◎・○・△
③英語と日本語のちが いに気を付けて話すこ とができていたか。	◎・○・△
【メッセージ】	
より	

Good Card () さんへ

①友達の Best Memory を知るためにたくさん 質問できていたか。	◎・○・△
②今まで習ったフレー ズを使って伝えること ができていたか。	◎・○・△
③英語と日本語のちが いに気を付けて話すこ とができていたか。	◎・○・△
【メッセージ】	
より	

Good Card () さんへ

①友達の Best Memory を知るためにたくさん 質問できていたか。	◎・○・△
②今まで習ったフレー ズを使って伝えること ができていたか。	◎・○・△
③英語と日本語のちが いに気を付けて話すこ とができていたか。	◎・○・△
【メッセージ】	
より	